

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画
① 文化財保存管理業務	地元等に委託し除草、清掃、見廻り等の管理を行う。	業務委託団体数	団体	15	15	14	15
② 文化財周辺整備事業	説明板、誘導標識を設置する。	設置箇所数	箇所	2	2	0	0
③ 文化財公開業務	国指定文化財等を一般に公開する。	一般公開日数	日	3	3	3	3
④ 文化財保護審議会業務	会議及び現地調査を開催する。	会議等開催数	回	4	2	3	3
⑤ 文化財指定業務	指定に関する調査を行い保護審議会の諮問を経て指定する。	新規指定・登録件数	件	0	0	2	1

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H25目標	H26目標	H27目標	H28目標
			H25実績	H26実績	H27実績	H28実績
1 県内装飾古墳県下一斉公開時見学者数	県下一斉で公開対象となった装飾古墳見学者の人数	人	500	500	500	1,000
			659	518	1,376	
2 指定・登録文化財件数	国県市指定・登録文化財の累計数	件	151	151	152	154
			151	151	153	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。 <input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	管理業務を地元行政区等に委託しているが、委託業務を止めた場合適切な管理ができない状況が予想される。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。 <input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。 <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	適切に文化財保護を行うことで、観光資源として有効な活用が見込まれる。周辺整備を充実させるとともに、新規指定や指定範囲の拡充を進め、積極的に文化資源の活用を図る。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。 <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。 <input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	文化財公開業務として、装飾古墳一斉公開事業の対象を平成27年度から石貫ナギノ横穴群、石貫穴観音横穴へ拡大した結果、見学者数が増加したため、引き続き継続して実施する。指定文化財については、文化財保護審議会に諮りながら新規指定や必要な指定範囲の拡充を進める。これに伴い保存管理についても範囲の拡大と充実を図る。また、一般向けの文化財説明資料の充実を図る。
昨年からの見直し・改善状況【32】	平成27年度において、新たに2件の新規指定を行った。また装飾古墳一斉公開事業において、石貫ナギノ横穴群、石貫穴観音横穴の一般公開を行ったところ、市外からの見学者が増加した。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	文化財保護法に基づいて自治体が行う重要な事務である。指定文化財の適切な管理と共に、未指定の文化財についても価値づけを行う。さらに一般に公開し、学習や観光の機会を提供することも必要である。	評価責任者 竹田宏司
------------------	---	---------------